

令和4年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」申請団体一覧

種類	区分	NO	団体名	事業名	事業の目的や効果	事業の内容	事業のスケジュール	今後の展開	構成人数	交付金要望額		補助年数 (年目)	対象者規模・範囲	審査結果
									単価	活動支援金	継続支援金			
みんなで協働型	一次	1	高森キッズサイエンスクラブ支援会	夢中になって自然とかかわり、有用素材を見つけ、活用する子どもたちの育成	今、子どもたちは、生活や遊びの中で、本物の自然体験をする機会が少なくなっている。そのため、「言葉とその解釈は何となくわかるが、体験や身体を通した実感としては、十分わかっていない」という子どもたちが増えている。これでは、自然にかかわる知識が十分活用できないばかりか、自然環境について未来永劫どうしていかという考え方も育たない。そこで、高森キッズサイエンスクラブ支援会では、夢中になって自然とかかわり、有用素材を見つけ、活用する子どもたちの育成を目標に、各種イベントを開く。	コゴミ・タケノコ・ヨモギなどの採集と簡単な調理、竹の皮の利用、自由研究のヒント、郷土料理をつくって試食、ヨモギ餅つき、竹の活用、自由研究のヒント指南など。	～4月13日（水）高森キッズサイエンスクラブ募集 4月16日（土）南大島川でコゴミの採取と簡単な料理 5月21日（土）南大島川・天竜川合流地点付近で荀の採取 7月30日（土）大島川上流～下流探検 8月6日（土）南大島川・天竜川合流地点付近で竹の皮拾いと魚探り 10月1日（土）南大島川・天竜川合流地点の河原でクルミ拾い 10月15日（土）クルミ味噌を作って、五平餅作り 10月16日（日）やじろべえの原理をつかって竹で来年の干支（ウサギ）作り 1月14日（土）小正月に合わせて草餅つき 3月11日（土）中華風ちまき作り、高森町産こんにゃく芋でこんにゃく作り	地域の自然が活用できそうな素材を見つけ、展開していく。子どもたちの希望により、過去に実施したチョウの幼虫がしや昆虫採集も再度取り入れることがある。	14	128,000		4	1	適正
									2,000	100,000	28,000			
みんなで協働型	一次	2	TAKART	TAKARTポータルサイト<WEB BOOK>プロジェクト	NETWORK&HOT LINEの拠点づくり TAKARTでは、会の取り組みのひとつとして町の宝ものさがしとその訴求を、ミニコミ誌の発行やイベントを通じ行ってきた。これまでストックしてきた町の魅力、今後発見していく魅力を、より多くの人に伝え、共感を促し町のファン増やし、自分たちが楽しく元気に暮らすことのできる町にしていきたいと考えている。 そこで、会の活動成果を紹介しながら多くの人とスマホ閲覧に重きを置いた、双方向ネットワークを構築できるホームページ（ポータルサイト）をつくり、新たな活動拠点をWEB上に設けたいと考えています。 【参考】ウェブ閲覧割合スマホ55%：PC40%：その他5%	TAKARTポータルサイト<WEB BOOK※1>の創設 町の魅力とTAKARTの活動を紹介し、多くの人とつながり交流していくための活動拠点＝HP（ポータルサイト）を創設し、今後管理・アップデートしていく。 【内容】 ①TAKARTの紹介②TAKART調査隊③プラタカモリ④町関連情報（投稿可とする）⑤ネットワーク関連情報（投稿※2）⑥その他 ※1いずれは冊子に代わるものになりたいとの思いからWEB BOOKとした。 ※2投稿は複数の登録者がPC/スマホから自由に投稿できる。またゲストからの投稿も募集して内容が妥当ならば公開できるようにする。	4年5月～7月 内容・デザインの企画編集 6月～9月 基本フレーム・ページ作成 10月 ドメイン取得 11月～12月 調整、メンバーへのオリエンテーション 5年1月～ 運用、調整	今年度：ホームページ創設。TAKARTの新たな活動拠点とする。 来年度以降：①内容の更新、投稿による内容の充実を通し、多くの人が訪れるサイトにする。②広告掲載による自立をめざす。	17	134,000		1	2	適正
									2,000	100,000	34,000			
みんなで協働型	一次	3	吉田史学会	よしだの郷史料集作成事業	①吉田地区の歴史をまとめ、会員・地区民共有の学習素材を整える。 ②成果品としてまとめることで、今後の調査研究・学習促進のベースとして活用する。 ③地域史の次世代への継承と次世代研究者の育成。	1 昨年は吉田地区の歴史について、これまで会員が収集調査した史料、まとめた成果等を編集活字化して集約し史料集を作成した。 2 2年目の今年度は、初年度成果内容の精査、編集・校正、新たな研究成果の追加等を行い、最終データを完成させる。 ※データの印刷・製本と、成果品を活用した学習会・見学会の企画開催等は、資金対策も含め今年度計画、来年度実施とする。	4年5月～10月 編集、校正、写真等の撮影挿入 11月～12月 最終データ調査、完成 5年1月～2月 印刷製本の資金対策、今後の事業計画化	史学会員が高齢化していることから、次世代への継承を進めていく必要がある。当事業の成果を活かした見学会、学習会等が考えられるが、会員内の事業では広がり欠ける。若年世代への浸透を図る必要がある。 今後は次世代若年世代グループとの連携を進め、興味、感心を喚起しながら、次世代への浸透を図っていきたい。	25	150,000		2	1	適正
									2,000	100,000	50,000			
みんなで協働型	一次	4	あじさいの会	地域コミュニティ支援事業	身近なボランティア活動を中心に活動しながら、よりよい地域づくりに力を出し合っていきたい。	・吉田ふれあい広場への協力 ・やすらぎ荘へのお手伝い ・災害時の後方支援（炊き出し・自衛団づくり等） ・高齢者世帯への支援（ゴミ出し、認知症、安心カード他） ・花畑の手入れ（苗づくり・植え付け・管理等） ・吉一サロンの実施協力（年3回） ・その他身近なボランティア活動（地区行事への支援・冬季の雪かき等）	年2回の総会を持ち、実施内容の検討反省をしながら事業を進める。 ・やすらぎ荘のお手伝い 年間分担表を配布し実施する。 ・高齢者世帯への支援（ゴミ出し、認知症サポート、安心カード他） ・6月より花畑の手入れ（植え付け、管理等） ・吉一サロンは年3回（7、11、3月）実施協力 ・その他の事業 その都度計画し実施していく	ボランティア活動を通して、賛同する仲間を増やし今まで続けてきた活動を長く継続していききたい。	26	112,000		4	1	適正
									2,000	60,000	52,000			
みんなで協働型	一次	5	原ノ城址愛護会	原ノ城址愛護会活動推進事業	平成17年5月20日に発足し現在に至っています。 当初の目的は原城跡地の保存をはかり地域住民の憩いの場所として桜の木を植えてこの場所を史跡跡地として管理し後世に残していく事や又町内外の観光客の方々にも史跡地を含め楽しんで頂ける事等を目的としています。	現在会員数は27名で年間とおして定期的に城跡地の除草作業や植樹した桜の木の消毒等の管理をしています。又、2年に一度、他史跡等に視察研修し会員同士の交流と親睦を深め愛護会の活動を進めています。	5月全会員による定例の草刈り作業及び定期総会。 2～11月の間は役員中心による城跡地の除草作業及び桜の木の消毒剪定作業 年間通しての愛護会だよりの発行	会員を増やしこの史跡を大切に保存し出来る限り長く継続していきたい。 昨年の申請時に審査委員会の意見として今後城址を地域の憩いの場にするために人が集まる仕掛けづくりを検討されたいとの意見を頂きましたが桜の木も植えてから5年程でまだ幼木のため人を集めてイベント等計画するにはもう少し年数が必要と思われます。またコロナ禍のため今は人が集まれる状況ではありませんので今後機会をみて検討していきたいと思います。	25	140,000		3	1	適正
									2,000	90,000	50,000			
みんなで協働型	一次	6	大清水ほたる愛護会	ほたる生育環境保全事業	山吹上平の大清水地区には、半世紀前までは6月下旬から7月上旬にかけて、数えきれないほどのゲンジボタルが舞い、楽しませてくれていた。ところが、ここ十数年はホタルの数が激減し、年間数匹しか確認できなくなっていた。そこで2年前にホタルの保護活動を開始すると、昨年は数十匹の発生を確認することができた。こうした成果を踏まえ、かつてのようなホタルが飛び交う自然環境を取り戻し、後世に伝えていくことを目的としてこの事業を実施している。 ホタルとその餌であるカワニナの生育環境が整えられ、ホタルが自然の中で増えることを期待するものである	・水路周辺の草刈り作業を実施する。 ・水路にたまった砂利や土をさらい、水の流れをよくするなどの作業を行うほか年に一回共同作業を実施し、遊水池を整備する。 ・カワニナの餌となるクレソンを植え、購入した餌を与えたりする。 ・水質調査を行い、湧水に汚水や除草剤などが混ざらないか継続的に観察する ・ドン・キホーテ営業、サッカー場の建設なども踏まえ照明とホタルとの関係を継続的に調査していく。	・草刈りは5月から11月にかけて各自実施する ・ホタルの観察は6月の1か月間毎日実施する予定 ・水路と池の共同作業はホタルの卵が孵化する前の7月、あるいは幼虫が育ってからの秋ごろ実施する予定	・昨年度も会員を増やすようにご助言をいただいたが、過疎地域でありなかなか難しい状況である。しかし、一方で山吹区のホテル管理委員会や上平河原組合との連携により、カワニナの生育状況やホタルの発生状況については、情報交換をしており、今後はこうした取り組みを継続・発展させていく方向を考えている。 ・ドン・キホーテやサッカー場等で、地域が仮に都市化されても、中でもホテルが生息し、人間と共存できる環境を目指していきたい。	6	112,000		3	1	適正
									2,000	100,000	12,000			
みんなで協働型	一次	7	下市田学校応援隊	明治の建物下市田学校を令和に活かす	高森町の古き良き文化遺産である下市田学校を地域の皆さんにより開かれたものにし、皆が楽しく集い、色んなことを体験していただき、活動できる場にしたいと考えている。 価値ある資産を保存だけでなく時代に合わせ有効に活用し、世代間の垣根を越えて豊かなひと時が過ぐせ、町民の交流の場としての空間が提供できること。	夏休みに小学生（4～6年生）を対象に親元を離れ、日頃の生活では体験できない活動を通して視野を広げ、自らが動き、仲間と協力し合って活動することにより、自主・自立の精神を養う集団生活を行う。 秋には明治期の学校校舎を地域の方々により広く知っていただくと共に日頃見聞することの少ない落語や寄席の雰囲気をも身近に味わっていただく機会にしたいと考え行なう。	夏休みに入った7月下旬の1泊2日が第一弾。 10月下旬の市田柿の収穫に取りかかる前に第二弾を実施する。	下市田学校で行うことのできる可能性にこれからも果敢に挑戦していきたい。さらに県内にある他の明治の学校との連携を図って「明治の学校サミット」等を行うことも考えていきたい。そのためにもこれらの活動を支える応援隊員を広く募集してより地域に密着した取り組みをしていきたい。	17	134,000		4	1	適正
									2,000	100,000	34,000			

令和4年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」申請団体一覧														
種類	区分	NO	団体名	事業名	事業の目的や効果	事業の内容	事業のスケジュール	今後の展開	構成人数	交付金要望額		補助年数 (年目)	対象者規模・範囲	審査結果
									単価	活動支援金	継続支援金			
みんなで協働型	一次	8	力行会地域づくり隊	地域の環境保全推進事業	「自分たちの地域（とこ）は自分達で、つくる、育てる、つなげる」を念頭に、地域内の景観保全・地域課題・地域の活性化に取り組み、自分達の住んでいる地域を次の代に伝えることを目的に活動する。	①地区計画で事業採択されない水路の改修 ②手が入らない、山道などの点検と手入れ ③地域内の竹林整備及び植林等の景観保全 ④防災上危険な、江戸ヶ沢・間ヶ沢上流の点検 ⑤その他、地域内で提起された課題への取り組み	事業の内容の①～⑤について、年4回程度地域内の点検・春愁の定期作業を行う。 必要に応じて、地域内で提起された課題に取り組む。	若年層の参加を促し、できる限り長く継続していきたい。	21	130,000		2	1	適正
									2,000	88,000	42,000			
みんなで協働型	一次	9	牛牧史学会	牛牧地区内の文化財標柱の美化保全事業	牛牧区内の文化財標柱は20カ所ありますが、周辺の雑草が伸びて標柱の存在また、その説明文が読み取れない状況です。会員により草刈りを行い、進入路の確保と標柱の美化及び保守を行うことにより、牛牧区民及び高森町民ひいては観光客にも文化財を見ていただけるよう、環境作りを行う。これにより地域の皆さんが文化財に関心を寄せ、地域を愛する心が育まれる。また、観光客へのPRができ、関係人口の増加が期待できる。	史学会員により次の2項を行う。 1 刈払い機等による文化財及び標柱周辺の草刈り 2 文化財への進入路及び標柱周辺の環境整備	6月と9月の2回、3班に分かれて草刈りや整備作業を行う。	次年度以降も継続していきたい。 また、子ども育成会を通じて、地球の文化財に関心を持っていただけるような機会を作っていきたい。	27	141,000		4	2	適正
									2,000	87,000	54,000			
みんなで協働型	一次	10	チビッコ花広場愛護良会	チビッコ広場愛護事業	目的 チビッコ花広場の快適な環境を創造し、人々が憩い、こどもが安全に楽しく遊べるように、地域の誇れる人と人の交流の場にする。 効果 ・親子で植物の観察ができ、こどもの植物に関する感覚が養われる。 ・綺麗な花壇ができることにより、SNS等で発信され、町の新たな魅力となる。 ・子供たちが遊びに来て良い交流の場になる。 ・高森町民の環境意識の向上を高める。	・一年を通じ、何らかの花が見られるようにする。 ・こどもが安全に遊べるよう、ゴミ、危険物除去、砂場整備。 ・砂場の整備、雑草除去、安全な殺虫剤による虫刺され防止。 ・花の写真を撮りに来てくださる方々が気分良く使ってもらえる環境を整える。 ・咲き終わった花の球、苗根配布。	春～夏 苗植え 夏～秋 サツキ等の剪定 年間を通して除草、ゴミ拾い、水やり	CATVやSNS等を通じて活動を紹介し、ボランティアに取り組む人を作っていきたい。球根を増やしていき、苗費用をかけずとも自走できる形を作っていく。	17	134,000		3	1	適正
									2,000	100,000	34,000			
みんなで協働型	一次	11	出原健康体操教室	地区健康体操教室	今の健康を維持し、寝たきりにならないようにしたい。	毎週日曜日セラバンド体操とストレッチ運動を一時間半くらい行う セラバンド 19種目 ストレッチ 23種目	毎週日曜日午後1時半から3時までセラバンド体操、ストレッチ運動を行う	コロナでできない時があり、1種目の回数が10回で行っているが、5月からは15回に増やし、目標として20回ずつできるようにしていきたい 地域の情報交換の場でもありたい。	7	28,000		2	0	適正
									2,000	14,000	14,000			
みんなで協働型	一次	12	出原アジサイの会	地域の環境・森林整備及び観光資源造成事業	出原区有林内（ハーモニックロード沿いの林床）を整備すると共に、その林床にヤマアジサイ（20種類）を植樹して里山の景観を整える。また、区民（子どもたち）との共同作業を通して、里山や郷土のもつ意味・価値の理解と住民間の協働の楽しさを味わう。将来、当アジサイ園を公開することによって森林活用の一方法を広めることになる。 また、この成果は、今後の千早原観光農園事業に付随する観光の目玉を作ることにもつながる。また、子どもとの協働作業を通して自然愛護や愛郷精神が醸成したいと考える。	①区有林内にあるアジサイ園の整備と造成を行う。 ②園内の遊歩道の設置並びに、その整備と新たな植樹活動（苗作りと移植）を推進する。 ③千早原観光農園事業への寄与（新観光資源づくり）を行う。 ④育成会や子ども会とタイアップして、子どもや地域住民（保護者）の愛郷精神の醸成を図る。	6月-子ども、区民と共にアジサイの植樹・園内のアジサイに施肥 6月-子ども、区民と共にアジサイの挿し木（苗作り） 7月から12月まで、定期的にアジサイ園の整備を実施 12月～令和5年3月-アジサイ園整備と今後のプランニング	若い世代の加入と中高生に加入を促進したい。 また、以前に植樹したアジサイの立ち枯れが目立っている。先進地視察を通して、園環境のあり方を研究したい。 次のステップである休憩所の整備、案内板の設置等を進めるとともに、新しい品種の苗購入に対しての研究を進めたい。	16	123,000		4	1	適正
									2,000	91,000	32,000			
みんなで協働型	一次	13	地域応援隊	町内の新しいコミュニティの創造と地域作り支援事業	町内の一人暮らしの方、農地管理等ができなくなった高齢者等への支援を行うと共に、支援活動を通して町民同士の繋がりを進める。 また、放棄農地の再生や独居老人の方々に対する支援を通じて未来の町づくりに対する課題や展望を明らかにしながら、隊員自らが町政（町づくり）に関心をもつ。将来的には町内に支部ができ、中高生が加わり大きな（「流汗参政」）のうねりが始まれば良いと考える。	①農地管理（土手草・支障木除去、農地再生）への支援 ②地域環境保持への支援 ③独居老人への支援 ④その他	5月-総会と活動内容の検討及び草刈り支援 6月-ロコミ等による本隊の活動紹介と支援の受け付け 6月～翌年2月-支援活動 10月-地域支援・農地再生の先進地視察 2月-総会と次年度に向けての計画立案	昨年度同様、支援活動を進めながらその都度、課題を明らかにして会運営を更新し、ゆくゆくは町内に支部的な組織や農地管理班、家庭支援班等、支援内容に合わせた組織作りを進めたい。それを実現するために今後、女性隊員や中・高校生隊員の加入も考えたい。	14	127,000		4	1	適正
									2,000	99,000	28,000			
みんなで協働型	一次	14	おもちゃの修理屋さん	おもちゃの修理屋さん	・動かなくなり、眠ったままの玩具に元気を取り戻す為に修理を行っている。 ・昨今物の豊富な時代に、親・子供たちが物の大切さを学んでほしいと願い事業運営を実施している。	・ボランティア活動であり、工具計測費・部品・修理費は基本無料 ・おもちゃ全般の修理を行うが、ガス銃等危険なものは修理の受け付けは行わない ・発足4年で約800件余りの修理を行う	・毎月第2～第4土曜日に飯田会場（子どもの森）2回・第3土曜日は高森会場（あったかてらす）にて実施 又、年に数回こどもの森祭に実施している	・会社OBにて実施しているも、高齢化が進む中で新規入会者確保に苦慮しているのが現状であり、少しでも長く事業を継続していきたい	12	113,000		1	1	適正
									2,000	89,000	24,000			
みんなで協働型	一次	15	花とあそぼ！	「育種寺子屋 高森分校」教室の開催	園芸育種家、矢澤秀成氏の「世界で一つだけの花を咲かせよう」をキャッチコピーとする、育種寺子屋教室を開催し、小学生、親子、シニア世代に、植物を育てる心と感動を体験してもらうことを目的とする。 雄花・雌花を交配させ、種から育てることで、植物の神秘を学ぶ。毎日の水やり、芽が出た瞬間の感動、世界でひとつ自分だけの花が咲いた時の感動、などを通じて植物を愛でる心が育成できる。	育種寺子屋教室は、小学生親子からシニア世代に、ペチュニアの花を使って、交配・種取り種蒔き・苗の植え替えなど年5回の教室を開催します。園芸育種家、矢澤秀成氏の「人は花を育てる 花は人を育てる」語録を基本に、講師から直接指導を受け、植物を種から育て、自分だけのオリジナルの花を咲かせる夢のある教室。	第1回 ペチュニアの花の交配 第2回 種取り・種蒔き 第3回 苗の植え替え①（ポリポット） 第4回 苗の植え替え②（プランター） 第5回 咲いた花の発表会と先生の評価	高森町で開催する育種寺子屋教室は今年度で9回目となりました。親子で花を育てる体験やシニア世代の趣味をひろげることなどに、役立つようできる限り継続していきたい	15	130,000		1	1	適正
									2,000	100,000	30,000			

令和4年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」申請団体一覧

種類	区分	NO	団体名	事業名	事業の目的や効果	事業の内容	事業のスケジュール	今後の展開	構成人数	交付金要望額		補助年数 (年目)	対象者規模・範囲	審査結果
									単価	活動支援金	継続支援金			
みんなで協働型	一次	16	上平芸能クラブ	芸能活動による地域活性化事業	目的 芸能活動を通して地域の皆さまと交流を図り、明るく楽しい地域づくりに貢献すること 効果 ①地域行事に参加することで、地域の皆さんと交流が持てる。 ②活動を通して地域の皆さんに喜んでいただき、地域の良さ・楽しさを再発見していただく。	①町内の行事やイベントへの参加。 ②演目の検討、ステージに向けての練習。	①令和4年 6月18日 天伯狭ほたる祭り 令和4年 8月上旬 上平分館納涼祭 令和4年 11月上旬 公民館文化祭ステージ発表 それぞれのステージに向けての練習(各5～8回) (コロナウイルスの影響により行事中止の場合は事業未実施)	①私たちの活動を見ることで、多くの方が地域を盛り上げる活動に継続的に参加いただけるようにしたい。また、子供さんが地域行事に関心を持っていただくことで、いずれ地元に着定していただくきっかけとなるようにしたい。 ②活動をアピールすることで町外へも事業を展開し、いずれ高森町のPR活動の一端になれるような企画・活動ができることを目指します。	14	128,000		3	1	適正
									2,000	100,000	28,000			
みんなで協働型	一次	17	牛牧クリーンクラスタ（UCC）	地域の環境保全・美化推進事業	牛牧区の手つかずとなっている町道沿線や農業用水源地の雑草、蔭木を除去することにより、環境の保全、車両運行上の視界の確保及び農業用水の安定した供給に寄与するとともに、活動を通じて会員相互の親睦を図ることを目的とする。	地域の同じ志を持つ様々な年齢層が集団となって、草木が成長する6月から9月の4ヶ月に集中して町道沿線や水路の雑草・蔭木を刈払機、チェーンソーを使って除去する。	・6月と9月に地域内の中央道沿線の草刈りを実施する。 ・7月に町道の蔭木及び大島川取水口付近の草刈り及び低木・枝の伐採作業を実施する。	集会、常会において事業の趣旨を説明し、賛同する多くの区民を募り、長く継続できるよう考えて行く。	23	146,000		3	1	適正
									2,000	100,000	46,000			
みんなで協働型	一次	18	高森町商工会名物料理研究委員会	町の名物料理を提供し食の楽しみを届ける事業	・高森荘の高齢者、高森中の卒業生に町の名物料理であるアルプスサーモンを提供し、食べる楽しみを感じて頂き、高森町には誇れる食材があることを再度知ってもらう機会にしたい ・このような事業を通じて、会員の意識を高めて自分たちの活動を町内、町外の方々に知ってもらい、アルプスサーモンをアピールしていきたい。	・高森荘においては、同会員のメンバーがアルプスサーモンを調理したうえで提供する。 ・高森中卒業生は給食センターと献立を協議して、アルプスサーモンをその調理法にそって調理しやすいようにして届ける。	・9月～10月に高森荘を実施。 ・3月に高森中卒業生を実施。	高森町でこのような事業をする事で、会員の意思疎通を図り、調理の技術の研鑽し、アルプスサーモン料理をアピールしつつ、今現在アルプスサーモンを使っている町内、町外の施設と連携していきたい。	6	110,000		3	1	適正
									2,000	98,000	12,000			
みんなで協働型	一次	19	千早原フラワーパートナーズ	千早原地域の環境保全及び美化推進	千早原地域の農業を維持、発展させるために農園観光に取り組みこの地域を訪れるお客さんを増やすことを目的に、拠点となるアグリ交流センター周辺へ花を植えて景観を良くする。 地権者、耕作者の親ほくを深めるとともに、地域の良さを再認識して、千早原の素晴らしいさをSNSで発信し、集客を図る。 千早原に関係する各種団体とコラボしてイベントを開催して千早原の魅力を町内外の多くの人々にアピールする。	アグリ交流センター西の上段道路土手に植えてある桜と紅葉を育てるため、草刈り、施肥を行う。 アグリ交流センター進入路脇及び駐車場周囲に「水仙」、「大待宵草」、季節の花々を植え景観をよくする。また植えた花の管理を行う。 「大待宵草」の鑑賞会、ミニコンサートを行う。	上段道路土手などの草刈りを年3回程度行う。 「大待宵草」鑑賞会を7月に行う。 「水仙」の球根植え付けを10月に行う。 「大待宵草」、季節の花々を植え景観をよくする。また植えた花の苗の定植を適宜行う。	千早原アグリ交流センター周辺の景観を良くすることにより、ここからの眺望が素晴らしいものとなる。 他の団体とコラボしてイベントを開催することによりこの地を訪れる人々が増え、千早原の関係者と訪れた人々の交流が生まれ地域が活性化し、農業の維持、発展に寄与する。	25	150,000		4	2	適正
									2,000	100,000	50,000			
みんなで協働型	一次	20	原町五平餅の会	地域の食で触れあい事業	・地区のイベントに五平餅を作って振る舞う。 ・皆で楽しく五平餅を作り住民に喜んで食べてもらう。 ・会員の親睦を図る	・7月に開催予定の分館主催の「上市田納涼祭」にて五平餅を作り販売する。 ・茶わ会、お楽しみ会をする	7月上旬 納涼祭準備 7月 納涼祭参加 8月上旬 親睦会、反省会	・地域の食文化である五平餅の作り方、味を後世に伝えていきたい	20	50,000		3	1	適正
									2,000	10,000	40,000			
みんなで協働型	一次	21	高森文化ユニット「ガイド研究部会」	「ガイド研究部会」町内ガイドの育成と実践	平成30年NHK大河ドラマ「女城主直虎」の放送による、直虎ゆかりの地として、井伊直親育成の地「市田郷・松源寺」と松岡城址の町民ガイドを役場産業課が主体となって募集し、多くのガイド実践が行われた。ドラマ終了と共に、訪れる人も激減したが、ガイド参加者の有志によって「ガイド研究会」が発足され、町公民館で勉強会が続けたが、コロナ禍によりここ3年半は休止状態となる。その間、町づくり政策も関係人口、幸せタウン等新たな地域活性の方向性も見え、立ち上げ当初の「ガイド研究による町の観光資源探しと魅力づくり」に立ち返り、若手ガイド育成を主体とし観光事業への拡大や体験型のツアーコンサルタントの専門性	南信州観光公社の協力を受けながら、ガイドの対応、知識の蓄積から実践体験と、ガイド自身の得意分野の知識の拡大を図る。特にわかもの特命係、中高生の校外学習の場として、ふるさと再発見の機会を提供することで、若者のガイド育成に力を入れたい。ガイドが必要とされる体験ツアー、写真、景観・歴史・地理学（ジオグラフィー）など総合的（広く浅く）な知識を持って、其々の個性あるガイドの育成と来訪者の魅力となる風景、たとえば「パノラマヴィレッジ」「松岡城址愛護会」「教育委員会」等との連携で体験ツアーガイド、景観整備協力などを行う。	わかもの特命係や中学生に趣旨説明と募集を行う。学生、生徒の夏休みや長期休みなどのタイミングで、ガイド体験研修会を開催する。令和4年7月下旬～令和5年3月まで8回ほどの講習会。町内での、開催イベント（歴史・文化財ウォーキング、野外イベントなどに合わせ実践ガイドを経験する。育成ガイド対象者は、景観ガイド、フォトガイド、歴史ガイド、ジオグラフィガイドを主とする。）興味、好奇心、観察力、感性育成といった学習にも役立つ。松岡城址ガイド経験者の体験講話を併用する。	まずは、ガイドの育成と拡大をする。育成の度合いにより、観光広告業として町内PRに参入する。主にフィルムコミッション、広告デザイン、イベント企画・運営、SNSでの発信など、若者のアイデアを重視した事業展開による法人化を目指す。	24	148,000		1	2	適正
									2,000	100,000	48,000			
みんなで協働型	一次	22	柿の里SC	地域住民の健康増進と知識と教養を身につける事業	町内の自然と歴史、文化を体験したり、運動を通じ地域住民（参加者）はもちろんスタッフとの親睦も深めて健康増進と教養も身に付けてもらう。	コロナ禍であるが対策をしながら、実施できるイベントを考え、企画し、準備実行をする。協力依頼があれば出来る限り協力していく。 ・育成会リーダー研修会 ・ウォーターチューブアドベンチャー ・自然体験教室 ・体力測定 ・柿の里ウォーキング、他	4月8日 総会 4月16日 リーダーズ研修会 7月 ウォーターチューブアドベンチャー 7月17日or18日 クップ大会（協賛） 8月 ネイチャーゲームin天白 10月 体力測定 11月3日 柿の里ウォーキング その他 親子レク、運営委員会（随時） ※今年度もコロナウイルスの影響があると思いますができる範囲で活動を行っていきたいと考えています	多世代交流の出来る行事を企画して、継続実施していく。	12	109,000		4	1	適正
									2,000	85,000	24,000			
みんなで協働型	一次	23	おやこ応援隊「おてこの会」	子育て支援事業	子どもとその過程を支援する各種団体、個人の活動をつなげ、高森町に在住する子どもとその保護者が安心して暮らせる居場所作りと仲間作りを目指す。町内外から会員を募り、短時間の託児、送り迎え等保護者の緊急時への援助、保育園学校の要請に対する協力、不登校生を含めた児童生徒の日常生活での関わりなど、会員の持てる力や可能な範囲でのサポートを展開していく。	①高森町ファミリーサポート事業への協力「あったかてらす」を事務局としたファミリーサポート事業への協力会員として子育て支援 ②保護者の居場所と保護者同士の関わりの場作り「あったかてらす」での子育てサークル活動、親子講座時の子どもの見守り 「おしゃべりサロン」（子育て井戸端会議）の企画再会協力 「子育て通信」発行配布等の活動への協力 ③保育園 要請に応じて、行事等のお手伝いや園児の見守りへの協力 ④小学校 授業準備や学習への支援（コミュニティスクール講師等での協力） 干し柿づくり、ミシン学習（南小） クラブ活動（北小）読み聞かせの会（グリとグラ）	①四ヶ月健診でのスタイブレゼントと広報活動 1 1/2 5（令和4年7月生まれ） 6人 1 2/2 3（令和4年8月生まれ） 5人 1/2 7（令和4年9月生まれ） 5人 ②保育園、認定こども園、小中学校へ出向いてできる支援やお手伝いの内容をお聴きする。	①子どもを見守り支援する協力員の拡大とそのネットワークを作り、町民みんなで地域の子どもの育成、相談に関わっていききたい。 ②こどもも大人も気軽に集える、第三の居場所作りを目指す。	8	49,000		1		審査中
									2,000	33,000	16,000			

令和4年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」申請団体一覧

種類	区分	NO	団体名	事業名	事業の目的や効果	事業の内容	事業のスケジュール	今後の展開	構成人数	交付金要望額		補助年数 (年目)	対象者規模・範囲	審査結果
									単価	活動支援金	継続支援金			
地区主体型	一次	24	下市田一区自治会	自治組織の再編と強化、加入促進を強化する事業（自治会活動） 地域の防災力を強化する事業、地域内の情報共有を強化する事業（インターネット整備）	・自治会活動の在り方を学び、当面の改善をする。 変化に対応した自治会 自主的な自治会 持続可能な自治会 ・インターネット、コミュニケーション環境の整備により、災害発生時に避難所となる積善会館の情報環境を整備し、災害時以外にも住民のネット上の情報活用や情報共有を図り、さらに自治会事務の合理化を目指す。	・自治会活動 1、先進自治会のあり様を学ぶ・下市田3区・吉田東・他 2、防災組織の再編・強化・改善 3、出労に対する役務報酬の検討 4、委員・役員選出制度の改善 5、若者の参加の検討、改善 6、その他 ・インターネット整備 7、モバイルルーターによるインターネット接続 8、事務所内のコピー機、スキャナー、大型TVなどの接続 9、常会長会を中心に、メール・SNS活用コミュニケーション 10、クラウドによる事務情報の一元共有により、重複・錯誤の防止と合理化 11、住民の皆さんの会館を中心のネット情報活用やコミュニケーション 12、リモート活用による会議・イベントの分散・・・など	・自治会活動 毎月の例会活動、他企画会議 1について2-3カ月 先進自治会の研修 2-6について8カ月程度 いずれも区、町の支援を得る。 ・インターネット整備 初年度は7.8.を完了して、9.10.11の試行段階へ	・自治会活動 左記概要について、一区自治会令和4年度事業計画、予算計上もすでに織り込んであり、実効性ある第一段階の改善を初年度に実施する。 ・インターネット整備 2年度目以降4.の定着と、5. 6.の試行から定着段階を目指し、ふれあい会館への整備の判断材料とする。	0	100,000		1	1	適正
									2,000	100,000	0			
まちと共創型	一次	25	山吹ほたるの里コミュニティスクール	特色ある学校づくり推進事業	保護者・地域住民。学校が連携・協力して「地域の子供は、地域で育てる」という理念のもと、それぞれのニーズと願いを迅速かつ的確に把握して学校運営に反映させ、学校・家庭・地域が一体となって、より良い教育の実現に取り組むことを目的とする。 地域の方々の支援、交流をとおして、児童が自分たちの住む地域を知ると共に、地域を愛する心情を育成できる。また、地域の方々と学校との協同を更に推し進めることができる。	・地域講師によるクラブ活動、ふれあい参観日の諸講座 ・学習支援 ・読み聞かせ ・やすらぎ荘、保育園、等との交流 ・高森北小学校創立150周年記念事業（地域と共に）	・5月～10月：クラブ活動 ・10月7日：ふれあい参観日 ・創立150周年事業（年間を通して） ・随時：学習支援 等	・ボランティアをはじめとする協力者を増やし、できる限り長く継続していきたい	25	150,000		3	1	適正
									2,000	100,000	50,000			
まちと共創型	一次	26	小原ヶ丘コミュニティスクール	特色ある学校づくり推進事業	各教科・総合的な学習の時間などの学習支援や環境整備、読み聞かせ、登下校安全確保、体験活動等において、ボランティアによる学校支援を通して、学校・保護者・町民がつながり子どもたちを支え、特色ある学校づくりを目指すことを目的とする。地域の方々の専門性や地域の力を生かした様々な支援により、学校教育活動が充実し、子どもたちに多様な経験や学びを積ませることができる。互いに顔がわかる関係が築かれ、地域ぐるみで子どもを育む体制づくりが構築できる。	1 各教科・総合的な学習の時間などの学習支援 2 学校花壇や学校周辺の草刈りなどの環境整備 3 読書週間における読み聞かせ 4 登下校における安全確保 5 体験活動などにおける外部講師の講話など 6 地域応援隊活動	1 各教科・総合的な学習の時間などの学習支援を年間通じて実施 2 学校花壇の整備や学校周辺の草刈りを5～10月に実施 3 読書週間における読み聞かせを年間通じて実施 4 登下校における安全確保を年間通じて実施 5 体験活動などにおける外部講師の講話を年間通じて実施 6 地域応援隊活動を5・7・9月に実施	体制づくりを進め、支援が継続していくようにしたい。	25	150,000		3	1	適正
									2,000	100,000	50,000			
まちと共創型	一次	27	丸山あったか育みプロジェクト	丸山あったか育み事業	目的 近隣する丸山公園やあったかてらす一帯を使い、子どもが花や緑や土にふれ、楽しく学ぶ場を造る。 作業等を通じて幅広い世代や仲間との交流を図り、子どもの育ちを地域で支援するとともに賑わいのある公園づくりを行う。 効果 子どもが自然に触れ楽しく学び育つ場づくりがされる。あったかてらすと丸山公園が連携すること、で、より相乗効果を発揮できる。事業を通じ、施設と地域、子育て世代とその他の世代など、幅広い交流が生まれる。中学生たちの町づくりへの関心が高まり健全育成が図られる。	公園やあったかてらす周辺に、畑や花壇など子どもと一緒に土いじりができる場所を造り、一緒に作業を行う。 子どもが自然に興味を持ち、楽しく自然と触れ合えるような公園づくりの発想や提案をする。	事業の実施期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日 畑の作業・収穫・賞味、丸山公園の花壇作り4～3月 あったかてらすと連携したイベント、収穫祭などの開催 随時	賑わいのある公園づくりを町と連携し継続していきたい。	9	118,000		4	1	適正
									2,000	100,000	18,000			
まちと共創型	一次	28	伝えたい想いアオギリにたくして	次世代へ！平和をつなぐ事業	丸山公園平和の丘には広島市や長崎市から寄贈された被爆樹木2世があります。高森町で「被爆アオギリ3世」を育てたりして、平和への思いを繋げていく。	町民と共に被爆樹木を中心に活動し、平和への思いを繋げていく事業を行う。	被爆アオギリ2世から3世を育てる事を継続する。 苗木が育ち構成員宅などで順調に育っている。 高森町で育った「被爆アオギリ3世」として、町内外に配布を行い、平和を繋いでいく。 ・長崎市から寄贈された「とんご柿」を収穫し、干し柿作り。 ・丸山公園平和の丘に被爆樹木の手入れ ・高森町と同じく「被爆アオギリ2世」がある南木曽町と平和交流。	町内外へのアオギリ配布を通じ、交流する中で平和を考える仲間を増やす事を継続していく。	21	142,000		3	2	適正
									2,000	100,000	42,000			
まちと共創型	一次	29	柿の里コミュニティスクール	地域とともにある学校づくり事業	学校教育目標「より強く より豊かに生きる 市田のこども」に向け、ふるさと高森で学ぶ場として、地域を題材にした体験学習を行っている。その際に、地域の方を講師として招いて教えて頂いたり、地域の方、施設と交流を行ったり、ご指導を頂いたりする中でふるさとひと、もの、ことの良さに触れ、ふるさと高森町を愛する心を育むことを目的とする。	1 地域を題材にした体験学習 ○栽培活動指導（米、大豆など）○干し柿作り○豆腐作り 2 学習支援（習字、ミシン、算数など） ○読み聞かせ○クラブ活動指導 3 お礼等 ○交通安全教室 ○登下校見守り ○環境整備	学年の活動に応じて	町で整備していただいたボランティア名簿を活用しながら、地域に関わる仕事を更に展開していきたい。	25	150,000		5		適正
									2,000	100,000	50,000			
みんなで経営型	一次	30	信州高森パノラマヴィレッジ	パノラマ農園の資源を生かした地域の元気づくり	目的 地域、農家、民間など多様な関係者の連携により、パノラマ農園の資源、景観を活かしたコミュニティビジネスを通じて、人が集まる元気な地域につなげることを目的とする。 効果 ・宿泊施設との連携により滞在型プログラムの商品化が可能。 ・りんご農園を借りることで、体験受入れが容易になる。 ・日曜日のオープンカフェ事業者を募ることににより、幅広い層の関係者との交流を得られる。	1.ハーモニックロード沿いの観光・集客施設との連携による農体験・景観拠点としてのプログラム化とイベントの開催 2.芝生広場の活用（サンデー・トライアルカフェ）、花づくりと仲間作り（バラ講習会） 3.農作物で都会とつなぐプロジェクト 4.情報発信（ホームページの運営管理、SNS等）	4月～ リンゴ農園の作業体験開始（通年）、森の家でのPR開始 5月～ 関係者調整、収穫体験、農園観光受け入れ開始 7月～ 休憩施設活用開始、植栽ワークショップ、オープンカフェ開始 10月 収穫や交流のイベント 通年： ホームページの運営管理、SNS情報発信（継続）、広報	芝生広場の整備をきっかけに、景観公園＋カフェ＋産品＋体験など複合的な要素を取り込み、いつでも来訪者を受け入れられる場と体制を整えていきたい。また、継続することにより、美しい農園が維持されることにつなげたい。	0	500,000		3	2	適正
									2,000	500,000	0			
わかもの	一次	31	飯田女子高校進学コース宮下 咲良さん	シードルの良さを広めたい	活動目的 ・高校1年から3年まで取り組んだ、高森町を含めた地域探究活動の成果を多くの人に知ってもらう。 ・企画を通して展示を見た人にシードルの魅力を知ってもらい、南信州のシードル文化に興味を持ってもらうこと。 「今度買ってみよう」「醸造所に行ってみよう」と思ってもらい南信州の魅力を再発見してもらうきっかけを作ること。 ・シードルを南信州の人たちにとって幸せな場面を共有したり、遠く離れた大切な人と空間を越えて繋がったりするためのおいしくて素敵なツールにするこ	活動内容 ・「シードル知っとる？」展2022年4月30日（土）5月1日（日）とよおかマルシェにて ・展示する醸造所：信州まし野ワイン株式会社 株式会社VinVie、南信州松川マルカメ醸造所、喜久水酒造株式会社、フォーム&サイダリーカネシゲ ・南信州に醸造所を構え、シードル作りをしている5軒の醸造所を取材した際の写真の展示と取材内容をまとめたパンフレットの配布。 ・商品の展示（販売は行わない） ・高森町ケーブルテレビでの活動報告	活動の成果 新型コロナウイルス感染拡大の影響で遠出が難しい今、地元に住む人たちに新たな「地域の楽しみ方」を提案する。 シードルが「地元の人たちが楽しんで飲むお酒」になれば南信州を代表する新たなお土産品にすることができる。 ・南信州、伊那谷を「シードルバレー」としてシードルの聖地にすることで将来的に国内のみならず世界中から人が集まる場所になる。	-	150,000		1	-		
									-	-	-			

令和4年度「高森町町民主体のまちづくり活動支援事業」申請団体一覧

種類	区分	NO	団体名	事業名	事業の目的や効果	事業の内容	事業のスケジュール	今後の展開	構成人数	交付金要望額		補助年数 （年 日）	対象者規 模・範囲	審査 結果
									単価	活動支援金	継続支援金			

申請額合計 4,186,000 円